



**セカンド・パーティ・オピニオン**

**SECOND PARTY OPINION**

---

**キリンホールディングス株式会社**

**ソーシャルボンド 定期レビュー(第 1 回)**

Prepared by: DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

Location: 神戸, 日本

Date: 2024 年 6 月 28 日

Ref. Nr.: PRJN-608685-2023-AST-JPN-01

## 目次

I. スコープと目的	3
II. プロジェクト概要	4
III. キリンホールディングスの責任と DNV の責任	5
IV. DNV 意見の基礎	6
V. 評価作業	7
VI. 観察結果と DNV の意見	8
スケジュール-1 キリン・ソーシャルボンド候補プロジェクト	11
スケジュール-2 ソーシャルボンド適格性評価手順	12

発行履歴	内容
2023 年 9 月 22 日	キリンホールディングス株式会社ソーシャルボンド セカンドパーティ・オピニオン
2024 年 6 月 28 日 (今回報告書)	ソーシャルボンド定期レビュー(1 回目) 資金充当状況：調達資金 600 億円について全額充当完了 社会的便益：Blackmores が取り扱う製品へのアクセス向上 (対象地域における Blackmores の認知率)

### Disclaimer

Our assessment relies on the premise that the data and information provided by Issuer to us as part of our review procedures have been provided in good faith. Because of the selected nature (sampling) and other inherent limitation of both procedures and systems of internal control, there remains the unavoidable risk that errors or irregularities, possibly significant, may not have been detected. Limited depth of evidence gathering including inquiry and analytical procedures and limited sampling at lower levels in the organization were applied as per scope of work. DNV expressly disclaims any liability or co-responsibility for any decision a person or an entity may make based on this Statement.

### Statement of Competence and Independence

DNV applies its own management standards and compliance policies for quality control, in accordance with ISO/IEC 17021:2011 - Conformity Assessment Requirements for bodies providing audit and certification of management systems, and accordingly maintains a comprehensive system of quality control, including documented policies and procedures regarding compliance with ethical requirements, professional standards and applicable legal and regulatory requirements. We have complied with the DNV Code of Conduct<sup>1</sup> during the assessment and maintain independence where required by relevant ethical requirements. This engagement work was carried out by an independent team of sustainability assurance professionals. DNV was not involved in the preparation of statements or data included in the Framework except for this Statement. DNV maintains complete impartiality toward stakeholders interviewed during the assessment process.

<sup>1</sup> DNV Code of Conduct is available from DNV website ([www.DNV.com](http://www.DNV.com))

## I. スコープと目的

麒麟ホールディングス株式会社(以下、麒麟ホールディングス)は、DNV に 2023 年 10 月 26 日に発行した「ソーシャルボンド」の債券発行後定期レビューの実施を委託しています。DNV における債券発行後定期レビューの目的は、麒麟ホールディングスが、後述する基準であるソーシャルボンド原則(以下、SBP)及びソーシャルボンドガイドライン(以下、SBGL)に合致していることを確認するための評価を実施し、このソーシャルボンドの適格性についてセカンド・パーティ・オピニオンを提供することです。

麒麟ホールディングスは 2023 年 10 月 26 日にソーシャルボンドの債券を発行しました。この債券の発行額は 400 億円、償還期間は 5 年、及び 200 億円、償還期間 7 年です。DNV は、SBP 及び SBGL に基き、定期レビュー(第 1 回)を実施しました。

DNV は独立した外部レビュー機関としてセカンド・パーティ・オピニオンの提供に際し、麒麟ホールディングスとは事実及び認識においていかなる利害関係も持たないことを宣言します。

また、この報告書では、ソーシャルボンドの財務的なパフォーマンス、いかなる投資の価値、あるいは長期の社会的便益に関する保証も提供されません。




### 適用又は参照される基準

No.	基準/ガイドライン	発行者	適用レベル <sup>*1</sup>
1.	ソーシャルボンド原則 2023 年版(SBP)	国際資本市場協会(ICMA)、2023	適用
2.	ソーシャルボンドガイドライン 2021 年版(SBGL)	金融庁、2021	適用

\*1 適用:各原則やガイドラインに共通する 4 要素全てに対する適格性を評価した

## II. プロジェクト概要




麒麟ホールディングスは、「CSV パーパス」に掲げる「健康」における社会課題の解決に取り組むために必要な資金をソーシャルボンドとして調達するため、「麒麟・ソーシャルボンド・フレームワーク」を策定しました。今回麒麟ホールディングスは、ソーシャルボンドで調達した資金を、下記のソーシャルプロジェクトに全額充当しました。

適格プロジェクト	ソーシャル分類	対象となる人々	関連する SDGs
Blackmores Limited の株式取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 必要不可欠なサービスへのアクセス               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 健康</li> <li>- 健康管理</li> </ul> </li> <li>■ 食料の安全保障と持続可能な食料システム               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 食料必要要件を満たす、安全で栄養価の高い十分な食品への物理的、社会的、経済的なアクセス</li> <li>- 食生活改善・未病対策</li> </ul> </li> </ul>	一般大衆  疾病等により特定の栄養素を必要とする人々	  

Blackmores Limited(以下、Blackmores)は 1932 年に創業し、豪州最大手・最も歴史ある健康食品(Natural Health)会社です。同社は、「To give people a choice to make living well each day a natural way of life. (自然な暮らしで日常生活を豊かにできる選択肢を提供する)」をパーパスに、「Combine our knowledge of nature and science to deliver quality solutions to bring wellness to people and their pets everywhere, everyday. (自然と科学との融合により、人々とそのペットに日常生活に健康をもたらす高品質のソリューションを提供する)」をミッションに掲げ、ナチュラルヘルス・自然療法の研究・開発を通じて、一世紀近くアジア・パシフィックの人々の健康に貢献してきました。

Blackmores の株式取得により、麒麟ホールディングスと Blackmores が、両社の展開する事業領域で以下①～③に示すような幅広いシナジーを創出することで、多くの健康に関する社会課題解決への貢献に寄与することが期待されます。

- ① ヘルスサイエンス事業の商品ラインアップおよびケイパビリティの充実による、展開地域と共に成長機会と事業規模の拡大
- ② 麒麟ホールディングスのスペシャリティ素材等の同社の販売網を活かした、アジア・パシフィック地域の数億人の顧客へのアクセスおよび、同社の消費者ニーズや各国規制に対する深い知見を活用し、課題解決提案力をさらに高めた BtoB および BtoC 事業の進化を通じた、ヘルスサイエンス事業の継続的な成長の実現
- ③ 両社の技術活用による新たな商品開発

<p><b>KIRIN</b></p> <p>成長機会の拡大</p>	<p>● <b>Blackmores社の販売チャンネルとケイパビリティの活用により スペシャルティ素材の展開加速が可能</b></p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ プラズマ乳酸菌の免疫サプリへの導出</li> <li>✓ シチコリンのドリンクサプリへの導出</li> <li>✓ ヒトミルクオリゴ糖の消化器系サプリ・粉ミルクへの導出 etc</li> </ul> <p> </p>
<p><b>BLACKMORES   GROUP</b></p> <p>成長機会の拡大</p>	<p>● <b>当社技術の活用により新たな商品開発が可能</b></p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新たな商品形態の開発・展開</li> <li>✓ 容器包装の更なる環境対応 etc</li> </ul> <p>● <b>FANCLとの商品共同開発が可能</b></p>
<p></p> <p>組織能力の向上</p>	<p>● <b>ヘルスサイエンス事業の組織能力向上が可能</b></p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 人材交流（両社の従業員にとって活躍できるフィールドが拡大）</li> <li>✓ ナレッジシェアリング（R&amp;Dやマーケティング） etc</li> </ul>

### Ⅲ. キリンホールディングスの責任と DNV の責任

キリンホールディングスは、DNV がレビューを実施する間に必要な情報やデータを提供しました。DNV のセカンド・パーティ・オピニオンは、独立した意見を表明するものであり、我々に提供された情報を基に、確立された基準が満たされているかどうかについてキリンホールディングス及び充当されたソーシャルボンドの利害関係者に情報提供することを意図しています。その業務において我々は、キリンホールディングスから提供された情報、及び事実に依拠しています。

DNV は、この意見表明の中で参照する選定された資産のいかなる側面に対して責任がなく、また試算、観察結果、意見又は結論が不正確である場合、それに対し責任を問われることはありません。従って DNV は、キリンホールディングスの関係者から提供されたこの評価の基礎として使用された情報やデータの何れかが正確または完全でなかった場合においても、責任を問わないものとします。

## IV. DNV 意見の基礎

DNV は、発行体にとってより柔軟なソーシャルボンド適格性評価手順(以下、「手順」)を適用するために、SBP 及び SBGL の要求事項を考慮したキリンホールディングスソーシャルボンド評価手順を作成しました。スケジュール-2 を参照してください。この手順は SBP 及び SBGL に基づくソーシャルボンドに適用可能です。

DNV の手順は、DNV の意見表明の根拠に資する一連の適切な基準を含んでいます。その基準の背景にある包括的な原則は、ソーシャルボンドが「社会便益をもたらす新規又は既存プロジェクトのための資本調達や投資を可能とする」というものです。

DNV の手順に従って、レビュー対象であるこのソーシャルボンドに対する基準は、以下の 4 つの要素にグループ分けされます。

- **要素 1：調達資金の使途**：調達資金の使途の基準は、ソーシャルボンドの発行体は、ソーシャルボンドにより調達した資金を適格プロジェクトに使わなければならない、という要求事項によって定められています。適格プロジェクトは、明確な社会便益を提供するものです。
- **要素 2：プロジェクトの評価及び選定のプロセス**：プロジェクトの評価及び選定の基準は、ソーシャルボンドの発行体が、ソーシャルボンド調達資金を使途とする投資の適格性を判断する際に従うプロセスの概要を示さなければならない、また、プロジェクトが目的に対する影響をどのように考慮しているかの概要を示さなければならない、という要求事項によって定められています。
- **要素 3：調達資金の管理**：調達資金の管理の基準は、ソーシャルボンドが発行体組織によって追跡管理されなければならないこと、また、必要な場合には、区別されたポートフォリオを構築し、未充当資金がどのように扱われるか公表するという観点で作成されなければならないことが、要求事項によって定められています。
- **要素 4：レポーティング**：レポーティングの基準は、債券への投資家に対して、少なくとも、資金の充当状況及び可能な場合には定量的もしくは定性的かつ適切なパフォーマンス指標を用いたサステナビリティレポートを発行する、という推奨事項によって定められています。

## V. 評価作業

DNV の評価作業は、発行体によって誠実に情報提供されたという理解に基づいた、利用可能な情報を用いた包括的なレビューで構成されています。DNV は、提供された情報の正確性をチェックするための監査やその他試験等を実施していません。DNV の意見を形成する評価作業には、以下が含まれます。

### i. ソーシャルボンド発行前アセスメント(\*この報告書には含まれません)

- この評価に資する上述及びスケジュール-2 に関し、ソーシャルボンドへの適用を目的とした発行体特有の評価手順の作成
- この債券に関して発行体より提供された根拠文書の評価、及び包括的なデスクトップ調査による補足的評価。これらのチェックでは、最新のベストプラクティス及び標準方法論を参照
- 発行体との協議及び、関連する文書管理のレビュー
- 基準の各要素に対する観察結果の文書作成

### ii. ソーシャルボンド発行後アセスメント \*今回報告内容

- ソーシャルボンド発行後に、発行体により提供された根拠書類の評価、包括的なデスクレビューによる補足評価
- 発行体の管理者へのインタビュー及び関連する文書管理のレビュー
- 現地調査および検査(必要な場合)
- 発行後時点での対象プロジェクト及び資産のレビュー(スケジュール-1 に記載された内容の更新)
- 発行後検証での観察結果の文書作成

## VI. 観察結果と DNV の意見

DNV の観察結果と意見は以下の通りです。

### 要素 1 : 調達資金の用途

DNV は、キリンホールディングスがソーシャルボンドにより調達した資金全額が SBP 及び SBGL で示される以下の適格プロジェクトに合致したソーシャルプロジェクトに資金充当されたことを確認しました。

適格プロジェクト	ソーシャル分類	充当時期（実績）	充当額
Blackmores の株式取得	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 必要不可欠なサービスへのアクセス</li><li>■ 食料の安全保障と持続可能な食料システム</li></ul>	2023 年 10 月（完了）	600 億円 (リファイナンス割合 100%)

### 要素 2 : プロジェクトの評価及び選定のプロセス

DNV は、レビューを通じてキリンホールディングスの財務担当部門、CSV 担当部門が、「キリン・ソーシャルボンド・フレームワーク」で定めた適格プロジェクトを選定し、財務担当部門の執行役員が選定された適格プロジェクトの最終決定を行ったことを確認しました。

DNV は、キリンホールディングスが、当該プロジェクトの選定に当たり「適用又は参照される基準」に示す適格クライテリアに合致すると共に、プロジェクトの実行に伴うネガティブな影響を評価、検討し、環境・社会的リスクを事前に確認していることを確認しました。

### 要素 3 : 調達資金の管理

DNV は、キリンホールディングスが債券発行から定期レビューまでの間、どのように資金を追跡管理したか確認しました。

キリンホールディングスは、ソーシャルボンドで調達した 600 億円全額を調達後速やかに Blackmores の株式取得に係る資金にリファイナンスとして充当し、未充当は生じていないことを確認しました。

### 要素 4 : レポーティング

DNV は、キリンホールディングスがキリン・ソーシャルボンドの調達資金の全額が充当済みであり、未充当金が発生していないこと、及び、調達された資金が償還されるまでの間、適格プロジェクトによってもたらされる社会的便益に関する特定の情報を年次でウェブサイト上に公表することを確認しました。なお、調達資金は全額充当完了していますが、今後充当した適格プロジェクトの実行状況等に大きな変更が生じる等の重大な事象が生じた場合は適時に開示する予定です。主要な報告項目は以下を予定しています。

#### <資金充当状況レポート>

- ◆ 充当対象となる適格クライテリア及び充当金額：Blackmores の株式取得（600 億円）
- ◆ 未充当金の残高及び運用方法：未充当金残高なし

#### <社会的便益>



- ◆ Blackmores が取り扱う製品へのアクセス向上（対象地域における Blackmores の認知率）グローバルでの顧客認知度が 681 百万人（対前年+138 百万人）※に増加。  
キリンが保有するスペシャリティ素材のグローバル展開に向けて Blackmores との取り組みが進展。

※ 出典元：

Fiftyfive5 Pty Ltd, Blackmores, December 2023


適格プロジェクト	アウトプット	アウトカム	インパクト
Blackmores の株式取得	Blackmores の子会社化	Blackmores が取り扱う製品へのアクセス向上	「健康な人を増やし、疾病に至る人を減らし、治療に関わる人に貢献」することを目指し、全世界の人々のより多くの健康課題の解決に貢献

## 評価結果

DNV は、キリンホールディングスから提供された情報と実施された業務に基づき、キリンホールディングスがソーシャルボンド適格性評価手順の要求事項を満たしており、SBP 及び SBGL の「社会への利益を伴う新規プロジェクトもしくは既存プロジェクトへの資本調達及び投資を可能にする」というソーシャルボンドの定義・目的と一致していることを意見表明します。

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

2024 年 6 月 28 日



鳥海 淳

テクニカルレビューアー

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社



前田 直樹

代表取締役/SCPA シニアヴァイスプレジデント

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社



金留 正人

プロジェクトリーダー

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社



寺田 和正

アセッサー

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

## About DNV




Driven by our purpose of safeguarding life, property and the environment, DNV enables organisations to advance the safety and sustainability of their business. Combining leading technical and operational expertise, risk methodology and in-depth industry knowledge, we empower our customers' decisions and actions with trust and confidence. We continuously invest in research and collaborative innovation to provide customers and society with operational and technological foresight. With our origins stretching back to 1864, our reach today is global. Operating in more than 100 countries, our 16,000 professionals are dedicated to helping customers make the world safer, smarter and greener.

## Disclaimer

Responsibilities of the Management of the Issuer and the Second-Party Opinion Providers, DNV : The management of Issuer has provided the information and data used by DNV during the delivery of this review. Our statement represents an independent opinion and is intended to inform the Issuer management and other interested stakeholders in the Bond as to whether the established criteria have been met, based on the information provided to us. In our work we have relied on the information and the facts presented to us by the Issuer. DNV is not responsible for any aspect of the nominated assets referred to in this opinion and cannot be held liable if estimates, findings, opinions, or conclusions are incorrect. Thus, DNV shall not be held liable if any of the information or data provided by the Issuer's management and used as a basis for this assessment were not correct or complete.

## スケジュール-1 キリン・ソーシャルボンド候補プロジェクト

表中に記載されている対象プロジェクトは、ソーシャルボンド債券発行後(2024年6月現在)、既に充当されたプロジェクトです。

No.	ソーシャルプロジェクト分類		ソーシャルプロジェクト			社会課題	SDGsへの貢献
	事業区分	事業区分の細目	ソーシャルプロジェクト概要	対象者	社会的便益		
1	必要不可欠なサービスへのアクセス 食料の安全保障と持続可能な食料システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 健康、健康管理</li> <li>- 食料必要要件を満たす安全で栄養価の高い十分な食品への物理的、社会的、経済的なアクセス</li> <li>- 食生活改善・未病対策</li> </ul>	Blackmoresの株式取得	一般大衆 疾病等により特定の栄養素を必要とする人々	「健康な人を増やし、疾病に至る人を減らし、治療に関わる人々に貢献」することを旨とし、全世界の人々のより多くの健康課題の解決に貢献	健康・長寿の達成 超高齢化社会への対応 「治療」から「予防」(未病対策)	  

## スケジュール-2 ソーシャルボンド適格性評価手順

下記のチェックリスト(SBP-1 ~ SBP-4)は、ソーシャルボンド原則 2023 を基とした、DNV のフレームワーク適格性評価の手順です。評価作業における「確認した文書」は、発行体の内部文書等が含まれ発行体から DNV に対して適格性判断の証拠として提供されています。

### SBP-1 調達資金の用途

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV 観察結果
1a	ボンドの種類	ソーシャルボンドの種類は SBP で定義される以下の種類のいずれかに分類される。 ・(標準的)ソーシャルボンド ・ソーシャルレベニューボンド ・ソーシャルプロジェクトボンド ・その他	確認した文書類： ・フレームワーク ・ソーシャルボンド適格性評価資料 関係者へのインタビュー	評価作業を通じグリーンホールディングスのソーシャルボンドは以下のカテゴリに分類されることを確認した。  (標準的)ソーシャルボンド
1b	ソーシャルプロジェクト分類	ソーシャルボンドにおいて肝要なのは、その調達資金がソーシャルプロジェクトのために使われることであり、そのことは、ソーシャルボンド発行に係る法的書類に適切に記載されるべきである。	確認した文書類： ・フレームワーク ・ソーシャルボンド適格性評価資料 ・法定開示文書ドラフト	資金調達の全額が、以下のプロジェクトに充当されたことを確認した。 「必要不可欠なサービスへのアクセス(健康、健康管理)」 「食料の安全保障と持続可能な食料システム(食料必要要件を満たす安全で栄養価の高い十分な食品への物理的、社会的、経済的なアクセス、生活改善・未病対策)」
1c	社会面での便益	調達資金用途先となる全てのソーシャルプロジェクトは明確な社会面での便益を有すべきであり、その効果は発行体によって評価され、可能な場合は、定量的に示されるべきである。	確認した文書類： ・フレームワーク ・ソーシャルボンド適格性評価資料 関係者へのインタビュー	DNV は、ソーシャルプロジェクトが、発行体によって客観的な社会課題であること、地域性の考慮、プロジェクト実行による受益者及び社会貢献(成果)が明確にされていることを確認した。  具体的には、Blackmores 買収により、同社が取り扱う商品へのアクセス向上等により、「健康な人を増やし、疾病に至る人を減らし、治療に関わる人に貢献」することを目指し、全世界の人々のより多くの健康課題解決への貢献が期待できることを確認した。
1d	リファイナンスの割合	調達資金の全部あるいは一部がリファイナンスのために使われる場合、又はその可能性がある場合、発行体は、初期投資に使う分とリファイナンスに使う分の推定比率を示し、また、必要に応じて、どの投資又はプロジェクトポートフォリオがリファイナンスの対象になるかを明らかにすることが推奨される。	確認した文書類： ・フレームワーク ・ソーシャルボンド適格性評価資料 関係者へのインタビュー	ソーシャルボンドにより調達した資金がスケジュール-1 に掲げるソーシャル・プロジェクトに新規投資およびリファイナンスとして全額充当されたことを確認した。 また、資金の充当状況及びリファイナンスの割合(100%)については年次レポートにて開示する予定であることを確認した。

## SBP-2 プロジェクト選定及び評価のプロセス

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV 観察結果
2a	プロジェクト選定のプロセス	<p>ソーシャルボンドの発行体はソーシャルファイナンス調達資金の用途となるプロジェクトの適格性を判断したプロセス概要を示すべきである。これは以下を含む(これに限定されるものではない)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発行体が、対象となるプロジェクトが適格なソーシャルプロジェクトの事業区分に含まれると判断するプロセス</li> <li>ソーシャルボンド調達資金の用途となるプロジェクトの適格性についての規準作成</li> <li>社会面での持続可能性に係る目標</li> </ul>	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フレームワーク</li> <li>ソーシャルボンド適格性評価資料</li> <li>ワークフロー申請記録</li> </ul> <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>キリンホールディングスが、財務担当部門及びCSV担当部門がフレームワークで定められた適格クライテリアを満たすプロジェクト(適格プロジェクト)として選定し、財務担当部門の執行役員が選定された適格プロジェクトの最終決定を行ったことを確認した。</p> <p>また、キリンホールディングスが、当該プロジェクトの選定に当たり「適用又は参照される基準」に示す適格クライテリアに合致すると共に、プロジェクトの実行に伴うネガティブな影響を評価、検討し、環境・社会的リスクを事前に確認していることを確認した。</p>
2b	発行体の環境及び社会的ガバナンスに関するフレームワーク	<p>ソーシャルボンドプロセスに関して発行体により公表される情報には、規準、認証に加え、ボンド投資家は発行体のフレームワークや環境に関連する持続性に関するパフォーマンスの品質についても考慮している。</p>	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フレームワーク</li> <li>ソーシャルボンド適格性評価資料</li> </ul> <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>キリンホールディングスのソーシャルプロジェクトは、キリンホールディングスの「CSVパーパス」や「長期経営構想、キリンググループ・ビジョン2027(KV2027)」と一致しており、プロジェクトの実行に際しては、環境関連法令、条例、諸規則及び当該地域との協定の遵守、周辺環境への配慮などが考慮されていること、適格プロジェクト固有のリスクについては、各種ステークホルダーによるリスク項目の抽出を行い、適切な対応・手続きを実施していることを確認した。また、ソーシャルプロジェクトによる社会的便益が明確になっていることを、フレームワーク等の文書確認や関係者へのインタビューを通じて確認した。</p>

### SBP-3 調達資金の管理

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
3a	調達資金の追跡管理-1	ソーシャルボンドによって調達される資金に係る手取金は、サブアカウントで管理され、サブ・ポートフォリオに組み入れ、又はその他の適切な方法により追跡されるべきである。また、ソーシャルプロジェクトに係る発行体の投融資業務に関連する正式な内部プロセスの中で、発行体によって証明されるべきである。	確認した文書類： <ul style="list-style-type: none"> <li>• フレームワーク</li> <li>• ソーシャルボンド適格性評価資料</li> <li>• 資金管理情報 (送金明細)</li> </ul> 関係者へのインタビュー	DNVは文書レビューとインタビューにより、調達した資金に係る手取金が、ただちにソーシャル適格プロジェクトに充当されたことを確認した。
3b	調達資金の追跡管理-2	ソーシャルボンドの実行期間において、追跡されている調達資金の残高は、一定期間ごとに、当該期間中に実施された適格プロジェクトへの充当額と一致するよう、調整されるべきである。	確認した文書類： <ul style="list-style-type: none"> <li>• フレームワーク</li> <li>• ソーシャルボンド適格性評価資料</li> <li>• 資金管理情報 (送金明細)</li> </ul> 関係者へのインタビュー	DNVは、キリンホールディングスがソーシャルボンドの実行から充当完了まで、調達資金の充当状況が管理されたことを確認した。
3c	一時的な運用方法	適格性のあるソーシャルプロジェクトへの投資または支払いが未実施の場合は、発行体は、未充当資金の残高についても、想定される一時的な運用方法を投資家に知らせるべきである。	確認した文書類： <ul style="list-style-type: none"> <li>• フレームワーク</li> <li>• ソーシャルボンド適格性評価資料</li> <li>• 資金管理情報 (送金明細)</li> </ul> 関係者へのインタビュー	今回のソーシャルボンドによる調達資金の全額が、資金調達後ただちに全額充当され、未充当資金は発生していないことを確認した。

## SBP-4 レポートティング

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV 観察結果
4a	定期レポートの実施	<p>調達資金の用途及び未充当資金の一時的な投資のレポートに加え、発行体はソーシャルボンドで調達した資金が充当されているプロジェクトについて、少なくとも年に1回、以下を考慮した上で、各プロジェクトのリストを提供すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 守秘義務や競争上の配慮</li> <li>- 各プロジェクトの概要、期待される持続可能な環境・社会的な効果</li> </ul>	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• フレームワーク</li> <li>• ソーシャルボンド適格性評価資料</li> <li>• 第23・24回無担保普通社債（ソーシャルボンド） 資金充当状況・インパクトレポート（案）</li> </ul> <p>関係者へのインタビュー</p>	<p>DNV は、キリンホールディングスがキリン・ソーシャルボンドの調達資金が全額充当済みであり、未充当額は発生していないことをウェブサイト上に公表する予定であることを確認した。また調達資金は全額充当済みであるが、今後充当した適格プロジェクトの実行状況等に大きな変更が生じる等の重要な事業が生じた場合は適時に開示する予定であることも確認した。</p> <p>(社会的便益)</p> <p>DNV は、キリンホールディングスが、現時点で想定するレポートティング指標については以下を予定していることを確認した。今後の Blackmores との事業展開に応じて、実務上可能な範囲でその取組内容についてレポートティングする予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Blackmores が取り扱う製品へのアクセス向上（グローバルでの顧客認知率）</li> </ul>